

2018.05.31  
Hiroshi Michiwaki  
道脇 裕

がんばれ<sup>みっきゅう</sup>三休さん

# デバイの実 輸送大作戦

～<sup>ゼロ</sup>0 除算の誘惑～



原作・監修 道脇裕 (H.Michiwaki)  
作画 鬼束二郎

大丈夫かい？

これは、  
秘境の地に住む  
デバイの精が

これでも食べて  
元気を出して。



散歩中に空腹で  
生き倒れた王様

うっうまい！  
これはなんといい  
実なのだ！

これはデバイの実。  
我々デバイの精のみが  
栽培できる神秘の実さ。

初めて  
外界と交わった  
記録であり…

ゼロ除算との  
出会いの記録である。

礼を  
言わせてくれ…！！

礼には  
及びません。

まあ何か贈ってくれたら  
喜びますがね。  
名刺だけ渡しておきましょう。



デバイの精に  
礼を送るのじゃ!

あの時は本当に  
デバイの精に助けられた…  
それにしてもデバイの味の  
罪深き味…  
もう一度、いやもう毎日でも  
食べたい…

ちょっと電話を  
してみるか。

デバイの村

電話よ  
ワリちゃん。

あら?

電話なんて  
珍しい!

もっ  
もっ  
もしもし

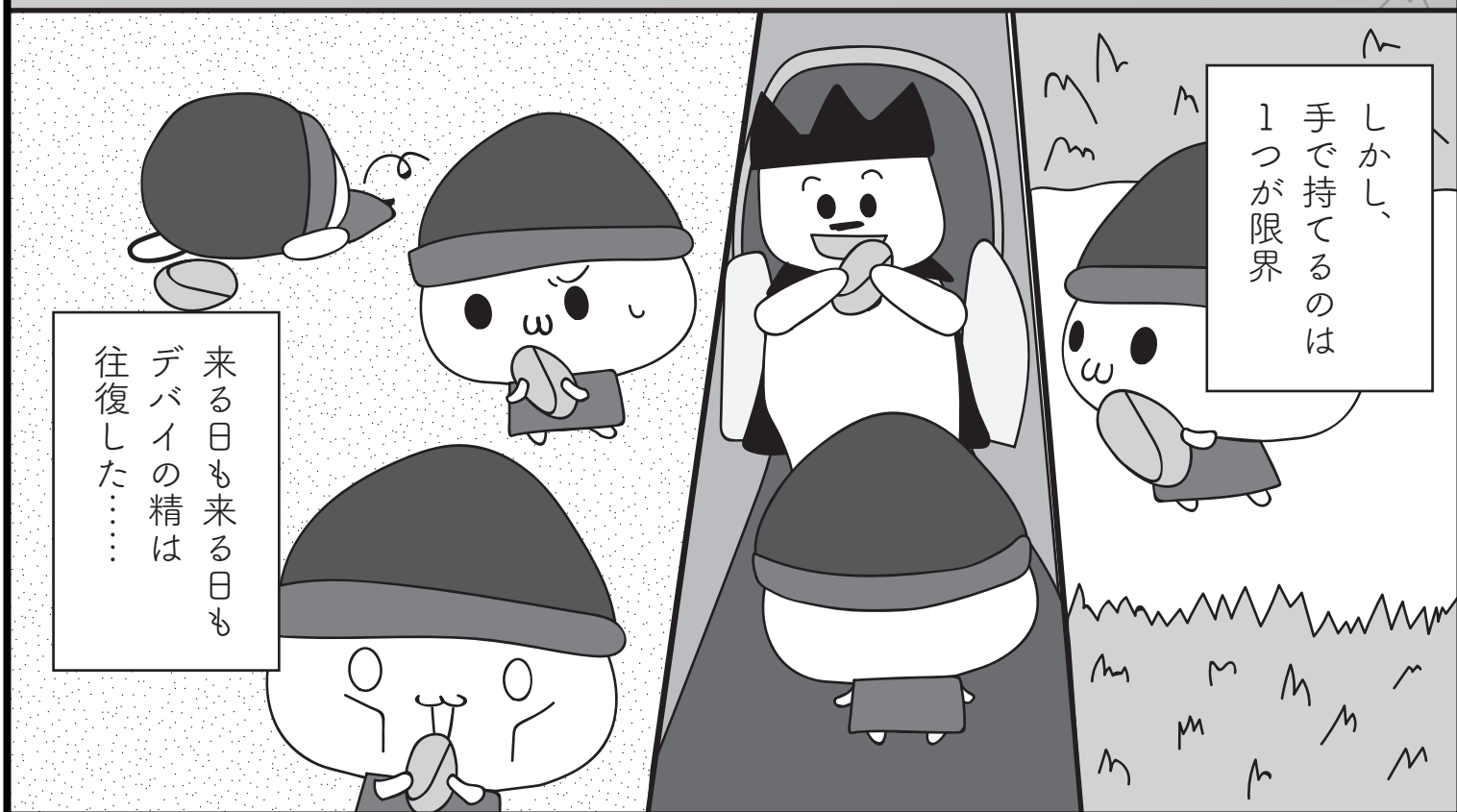
あ!  
デバイの精か?  
わしじゃわし!  
先日世話になった  
王様じゃ!

あっ王様!  
どうしたの?  
お礼でも  
贈る気になった?

ああもちろん。  
それで  
一つお願いが…

礼には及ばないって言ってなかったか?

何?





デバイの村

割に合わん…

ワリちゃんや。

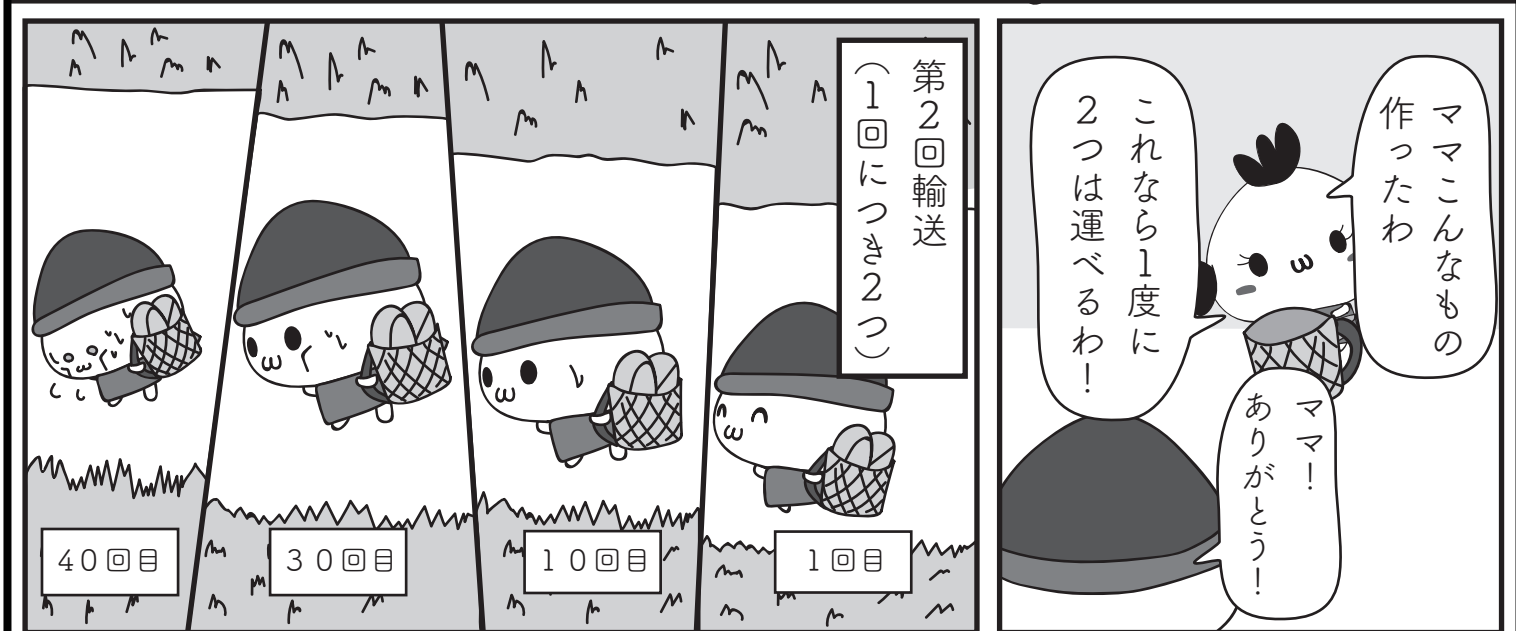
10000

100  
日目…

よくやった！  
1個100円として  
1万円の報酬じゃ！  
次も頼むぞ！

わ、わーい！  
やっとな報酬が…って

10000



第2回輸送

(1回につき2つ)

ママこんなもの  
作ったわ

これなら1度に  
2つは運べるわ！

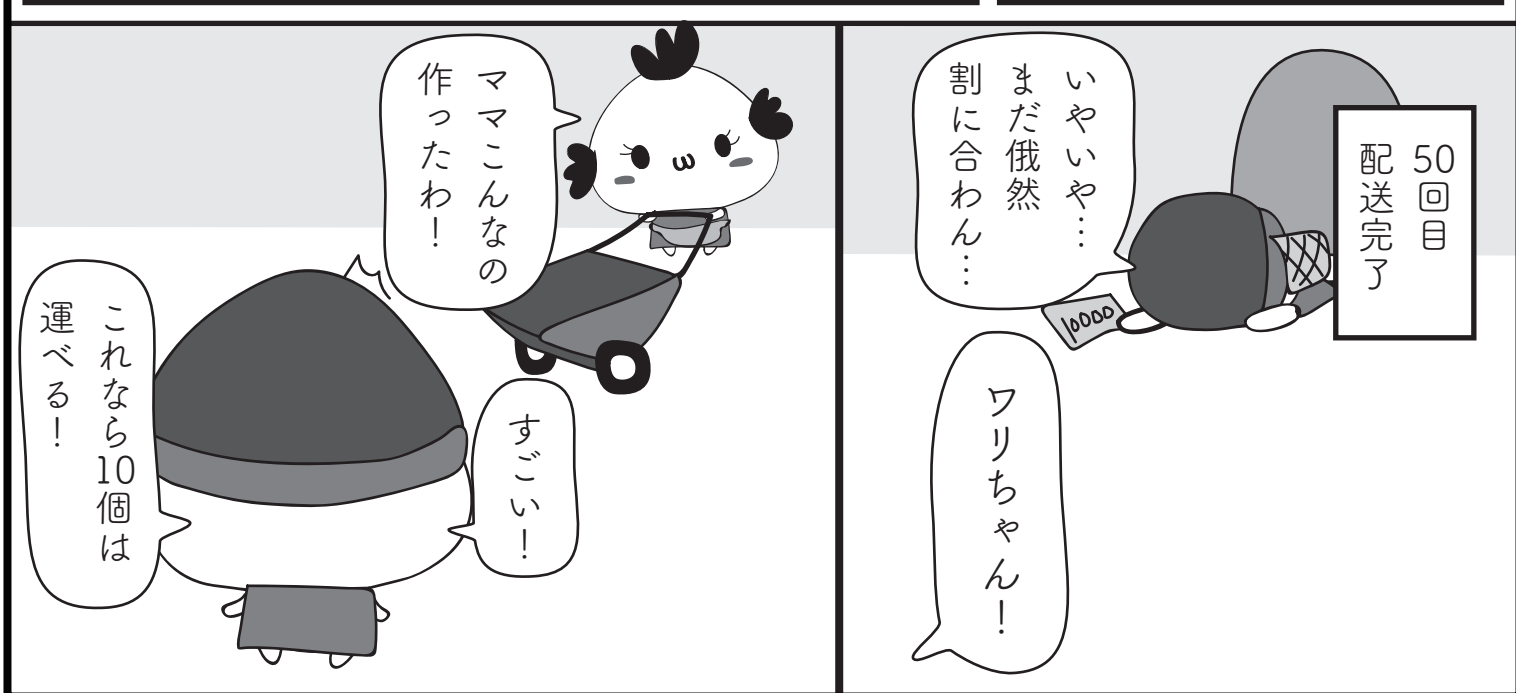
ママ！  
ありがとう！

40回目

30回目

10回目

1回目



50回目  
配送完了

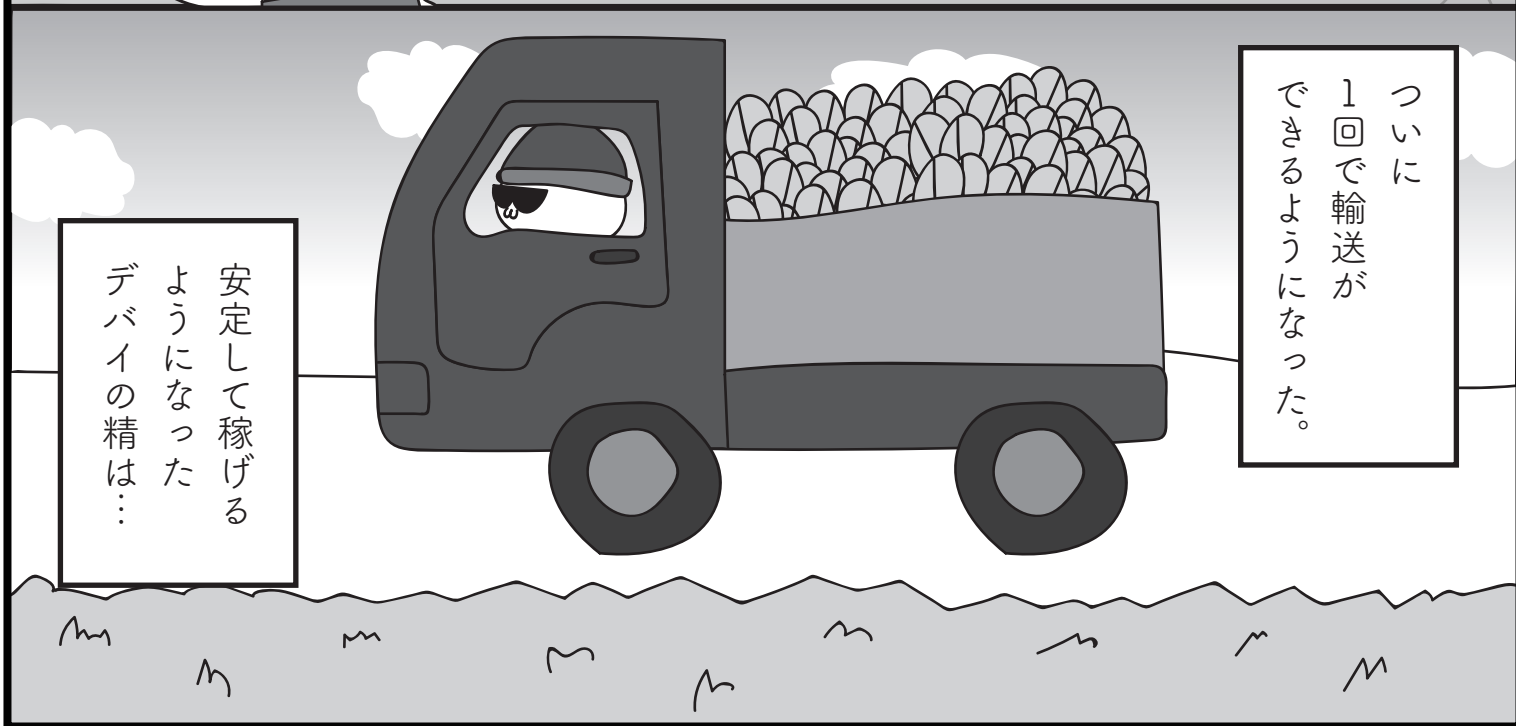
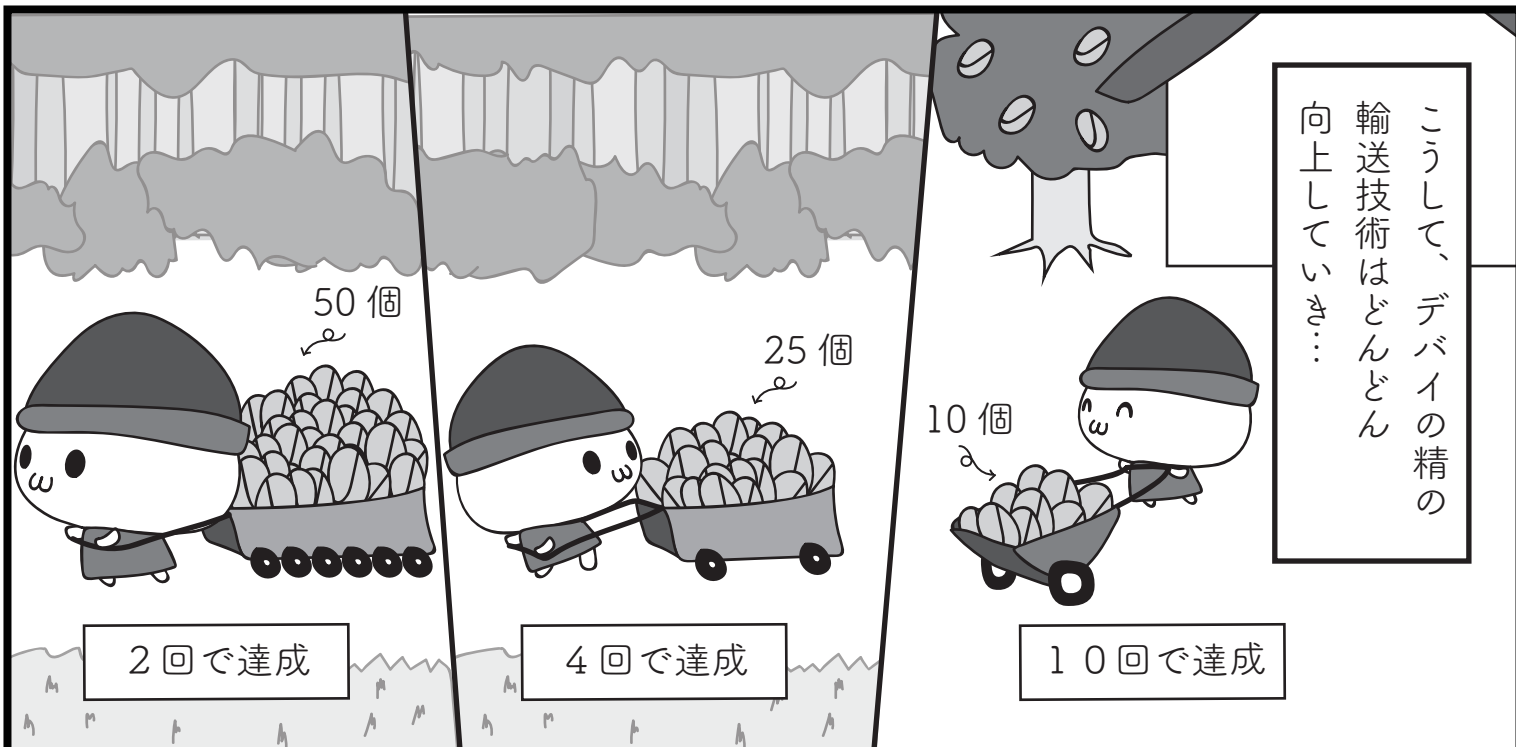
いやいや…  
まだ俄然  
割に合わん…

ワリちゃん！

ママこんなもの  
作ったわ！

すげー！

これなら10個は  
運べる！





少し調子に  
乗っていた……！

もっと  
楽したい……！

ねえママー  
もう少し楽したいよお。

ええ  
そうねえ……

往復する回数を  
減らせば楽になるんでしょ？

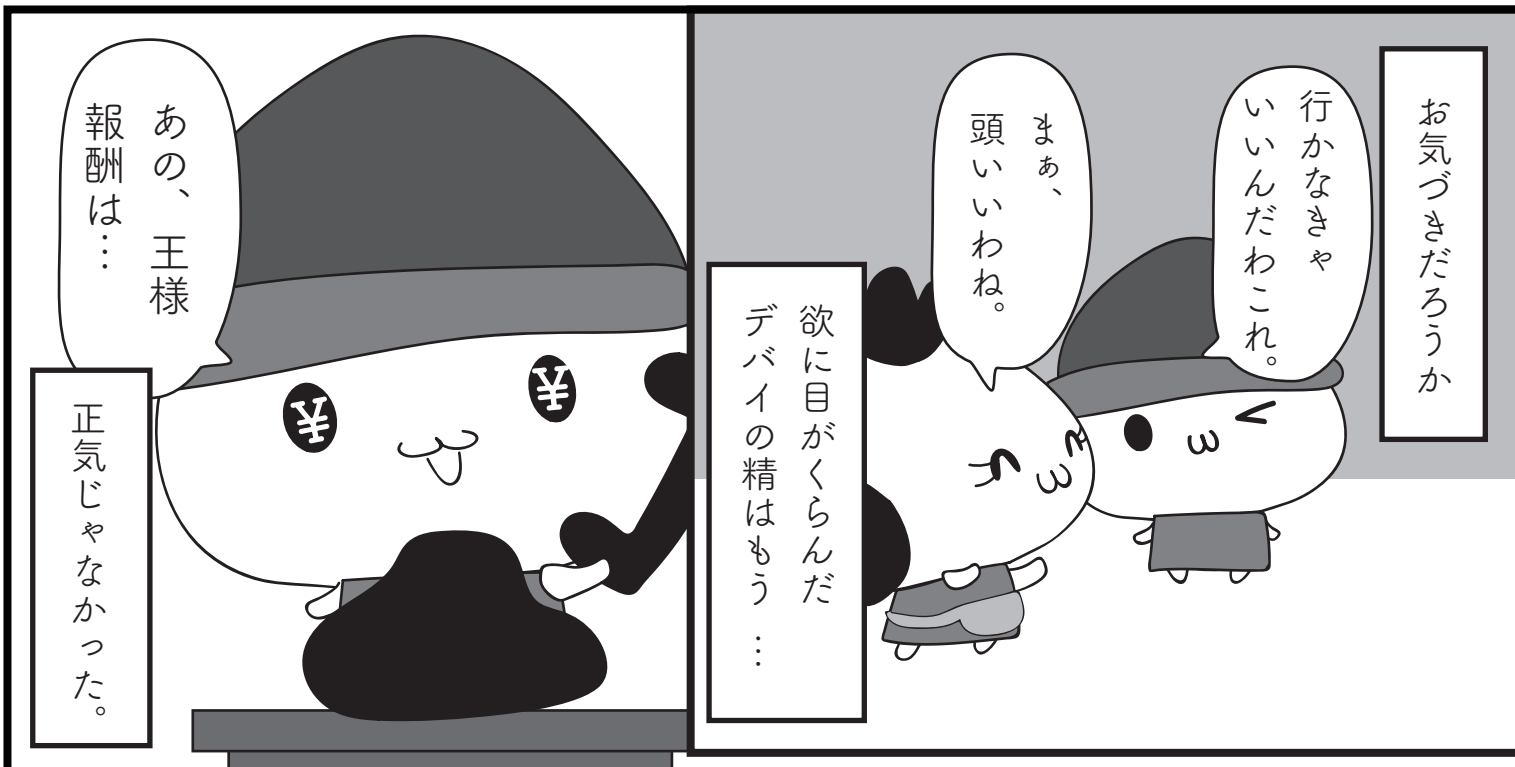
もう1往復で  
済むところまで  
きたんだから次は  
0<sup>ゼロ</sup>往復しかないわよ。

ぜ……

ゼロ……  
往復……

ひらめいた！

ママの言う通り  
往復の回数を  
減らせば楽……  
つまり、往復しない……  
0<sup>ゼロ</sup>回の輸送で、  
100個運べば  
いいんだ！



お気づきだろうか

行かなきゃ  
いいんだわこれ。

まあ、  
頭いいわね。

欲に目がくらんだ  
デバイの精はもう  
：

あの、王様  
報酬は…

正気じゃなかった。

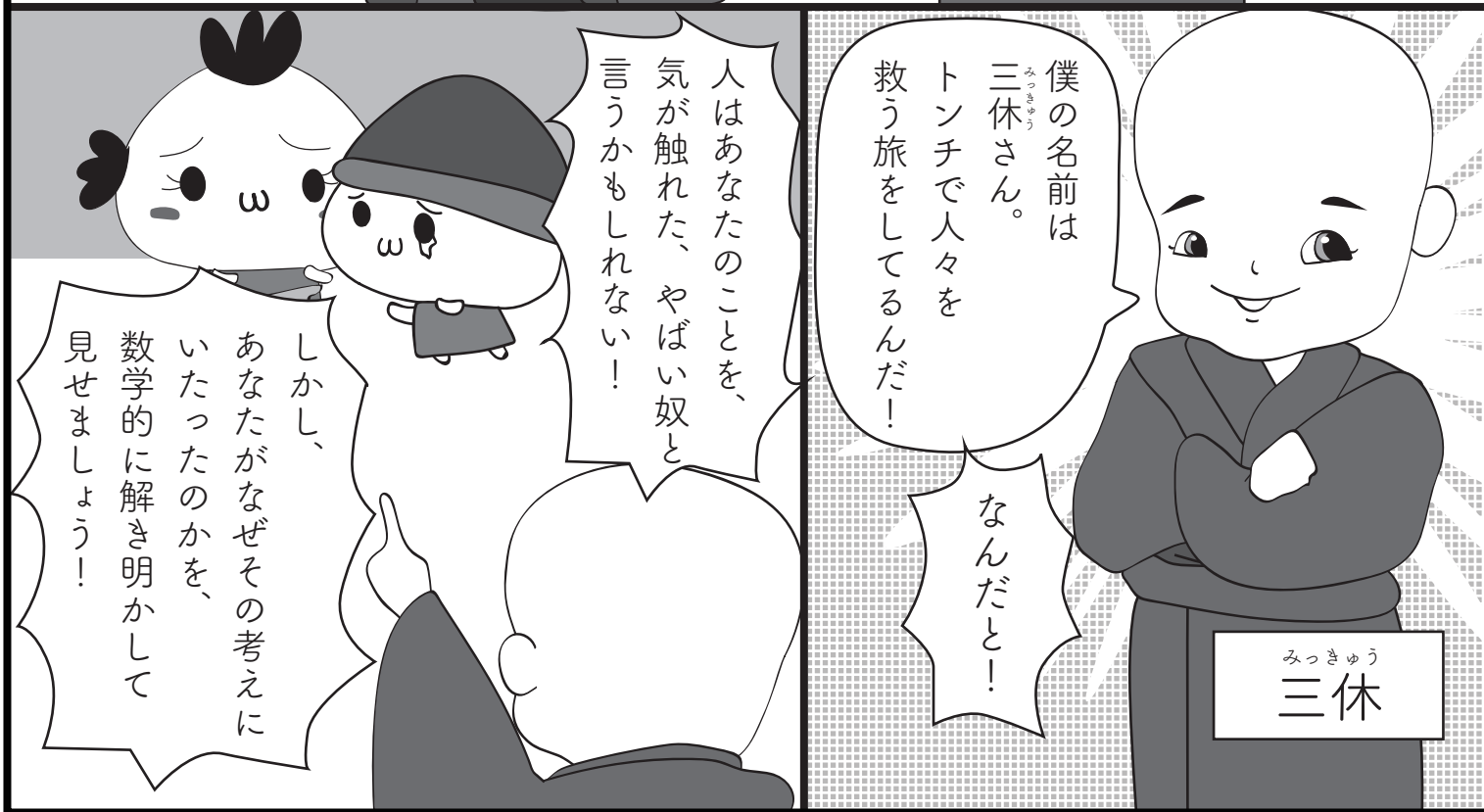


は？デバイの実  
なんて1個も  
届いてないが？  
どういうことじゃ？

え？  
そんな、僕の考えた  
効率化が…

フッフ  
僕の出番ですね。

な！  
お前は！



僕の名前は  
三休<sup>みつきゅう</sup>さん。  
トンチで人々を  
救う旅をしてるんだ！

なんだと！

みつきゅう  
三休

人はあなたのことを、  
気が触れた、やばい奴と  
言うかもしれない！

しかし、  
あなたがなぜその考えに  
いたったのかを、  
数学的に解き明かして  
見せましょう！



$$1_{(個)} \times 100_{(回)} = 100_{(個)}$$

つまり100往復で達成!



そうそう、大変だったあ

手持ちで回ごとに1個。

勢いに乗って効率化していった輸送回数ですが、はじめから数式にしていきましよう。



$$10_{(個)} \times 10_{(回)} = 100_{(個)}$$

10往復で達成!



この辺からママの腕がめきめき上がって行ったよね。

そして1回で10個!

$$2_{(個)} \times 50_{(回)} = 100_{(個)}$$

50往復で達成。



ママのおかげで往復回数が半減!

お次が1回につき2個。

1往復に!

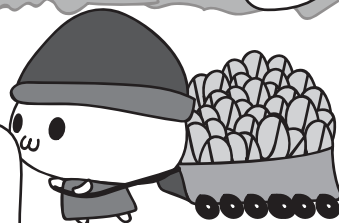


そしてついに1回で100個で

これには度肝抜かれたなあ

$$100_{(個)} \times 1_{(回)} = 100_{(個)}$$

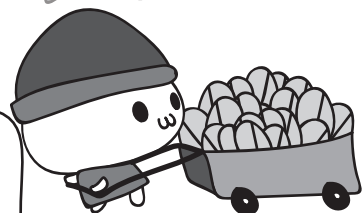
50個で、



2往復!

$$50_{(個)} \times 2_{(回)} = 100_{(個)}$$

20個で



5往復!

$$20_{(個)} \times 5_{(回)} = 100_{(個)}$$

なんで順調に減らせていた輸送回数がここにきてダメになってしまったのでしょうか。



$$1_{(個)} \times 100_{(回)} = 100_{(個)}$$

$$2_{(個)} \times 50_{(回)} = 100_{(個)}$$

$$10_{(個)} \times 10_{(回)} = 100_{(個)}$$

$$20_{(個)} \times 5_{(回)} = 100_{(個)}$$

$$50_{(個)} \times 2_{(回)} = 100_{(個)}$$

$$100_{(個)} \times 1_{(回)} = 100_{(個)}$$



そして問題の0<sup>ゼロ</sup>往復…

何言ってるんだよママ！そんなの当たり前！



100<sub>(個)</sub> × 100<sub>(回)</sub> = 100<sub>(個)</sub>

2<sub>(個)</sub> × 50<sub>(回)</sub> = 100<sub>(個)</sub>

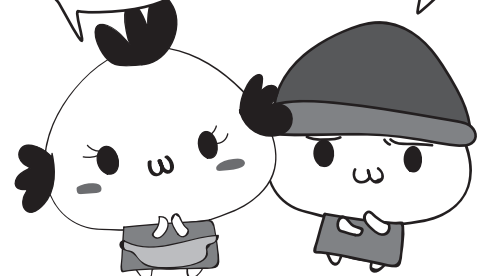
10<sub>(個)</sub> × 10<sub>(回)</sub> = 100<sub>(個)</sub>

20<sub>(個)</sub> × 5<sub>(回)</sub> = 100<sub>(個)</sub>

単位がごちゃまぜで不思議だね。「個」を「回」でかけてまた「個」に…



あら？三休<sup>みつきゆう</sup>さんこの式…



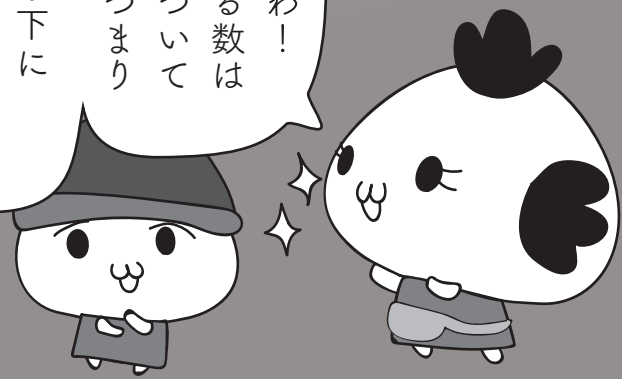
むむー

$$\frac{1_{(個)}}{1_{(回)}} \times 100_{(回)} = 100_{(個)}$$

$$\frac{1_{(個)}}{1_{(回)}} \times \cancel{100_{(回)}} = 100_{(個)}$$

わかったわ！かけられる数は回ごとについての回数、つまり

「個」の下に「回」がいたのね！



これを約分した「回」がどこかに潜んでいるんです！



この消えた「回」

いいえ！ママさん素晴らしい！それがこの謎のポイントのひとつ！



$$\frac{1\text{個}}{1\text{回}} \times 100\text{回} = 100\text{個}$$

$$\frac{2\text{個}}{1\text{回}} \times 50\text{回} = 100\text{個}$$

$$\frac{10\text{個}}{1\text{回}} \times 10\text{回} = 100\text{個}$$

$$\frac{20\text{個}}{1\text{回}} \times 5\text{回} = 100\text{個}$$

$$\frac{50\text{個}}{1\text{回}} \times 2\text{回} = 100\text{個}$$

$$\frac{100\text{個}}{1\text{回}} \times 1\text{回} = 100\text{個}$$



さあ君。  
0往復の式を書いて  
みてください！



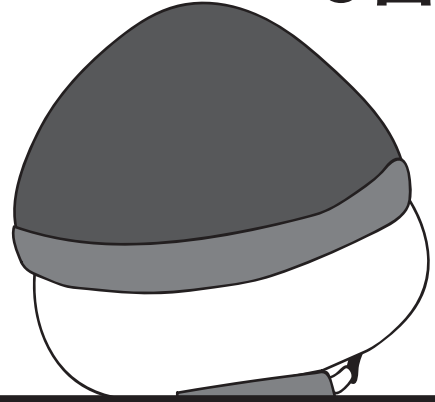
ちよつと待ってよ。  
そんなことが0往復の  
何に関係あるの？



わかりました。  
では、さっきのを  
全部式に入れてみました。

$$\frac{100\text{個}}{1\text{回}} \times 0\text{回} = 0\text{個}$$

…あつ

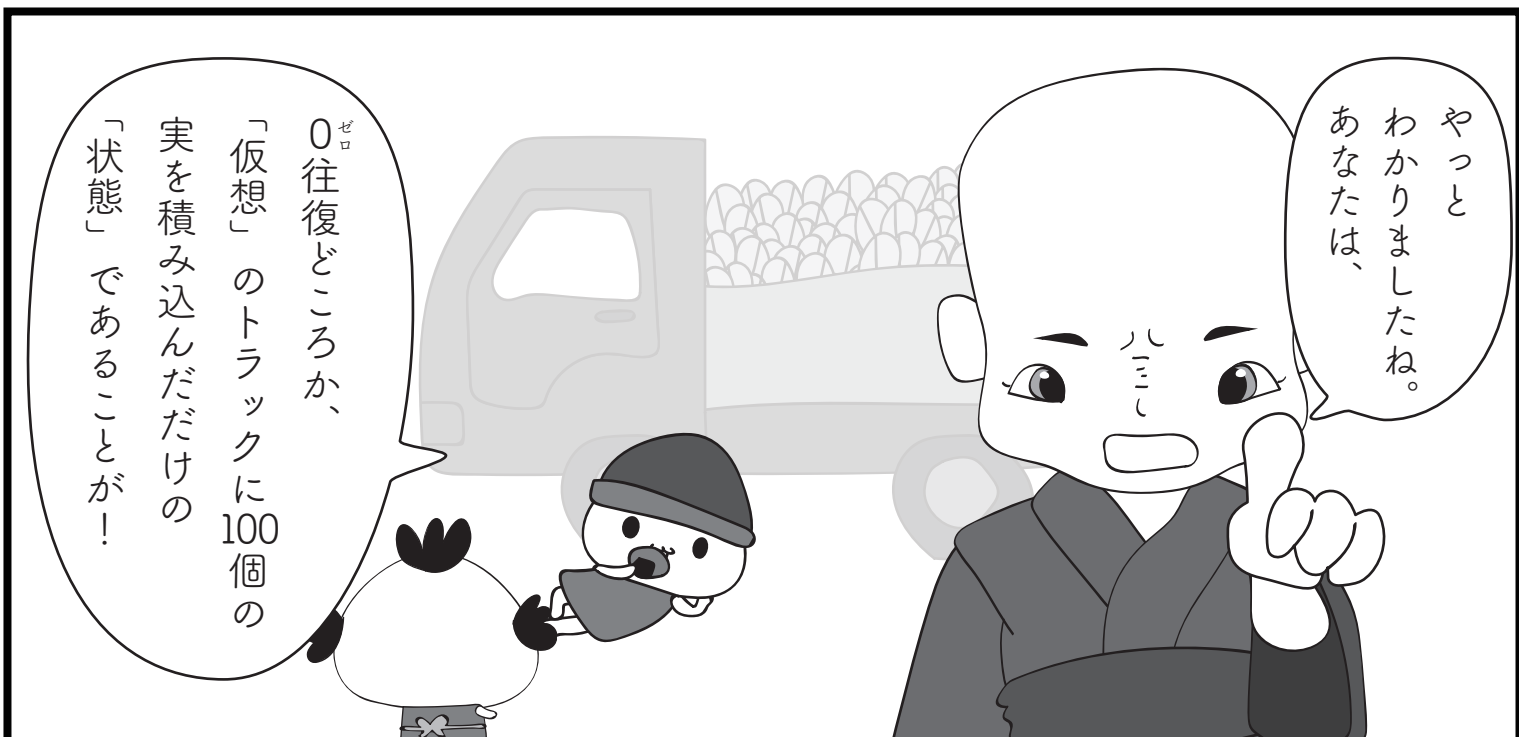


こんなの簡単…

$$\frac{100\text{個}}{0\text{回}}$$

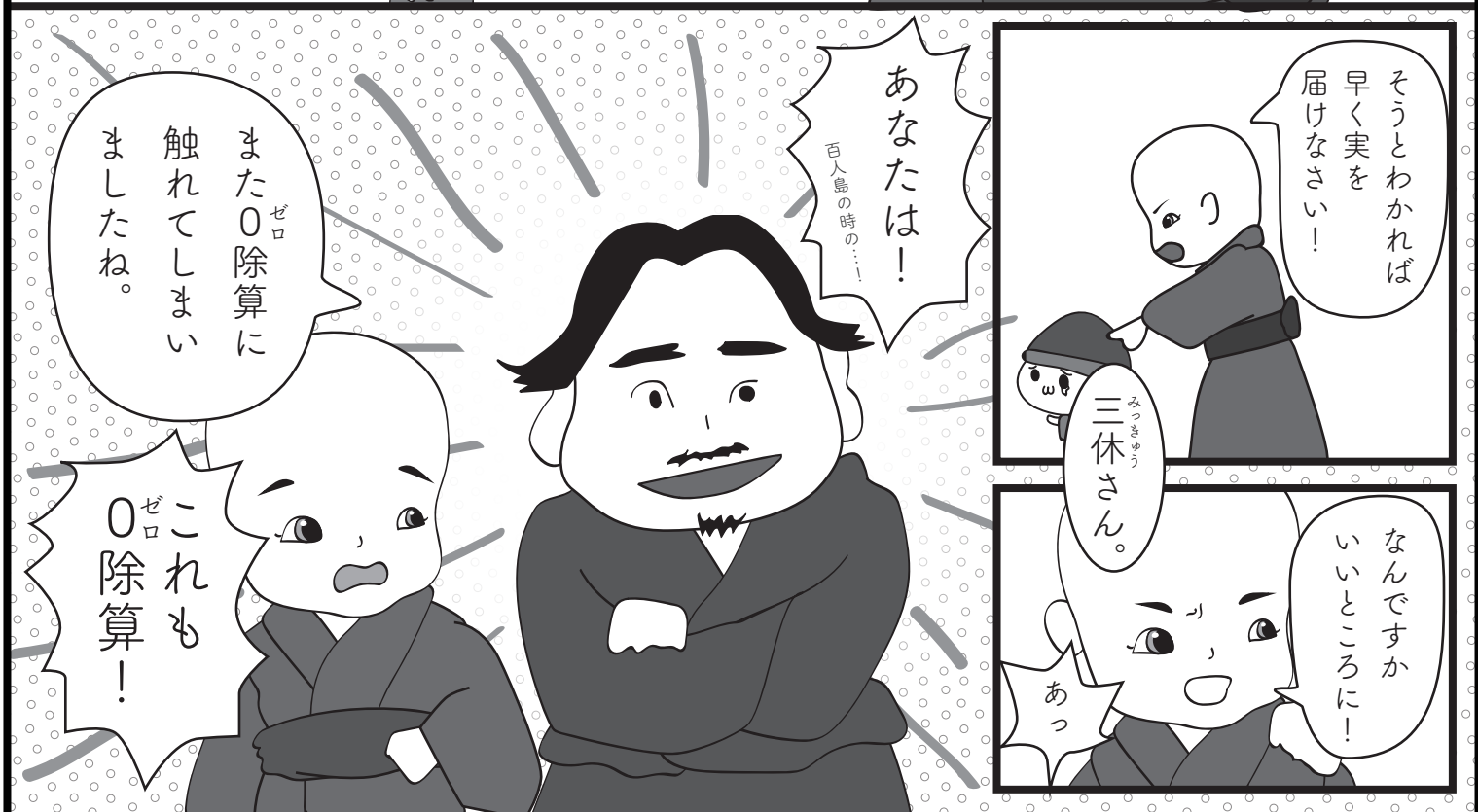
あれ？

そもそも、  
積み込んでも  
ないから  
1回分  
じゃない…？



やっと  
わかりましたね。  
あなたは、

0<sup>ゼロ</sup>往復どころか、  
「仮想」のトラックに100個の  
実を積み込んだだけの  
「状態」であることが！



あなたは！  
百人島の時の……！

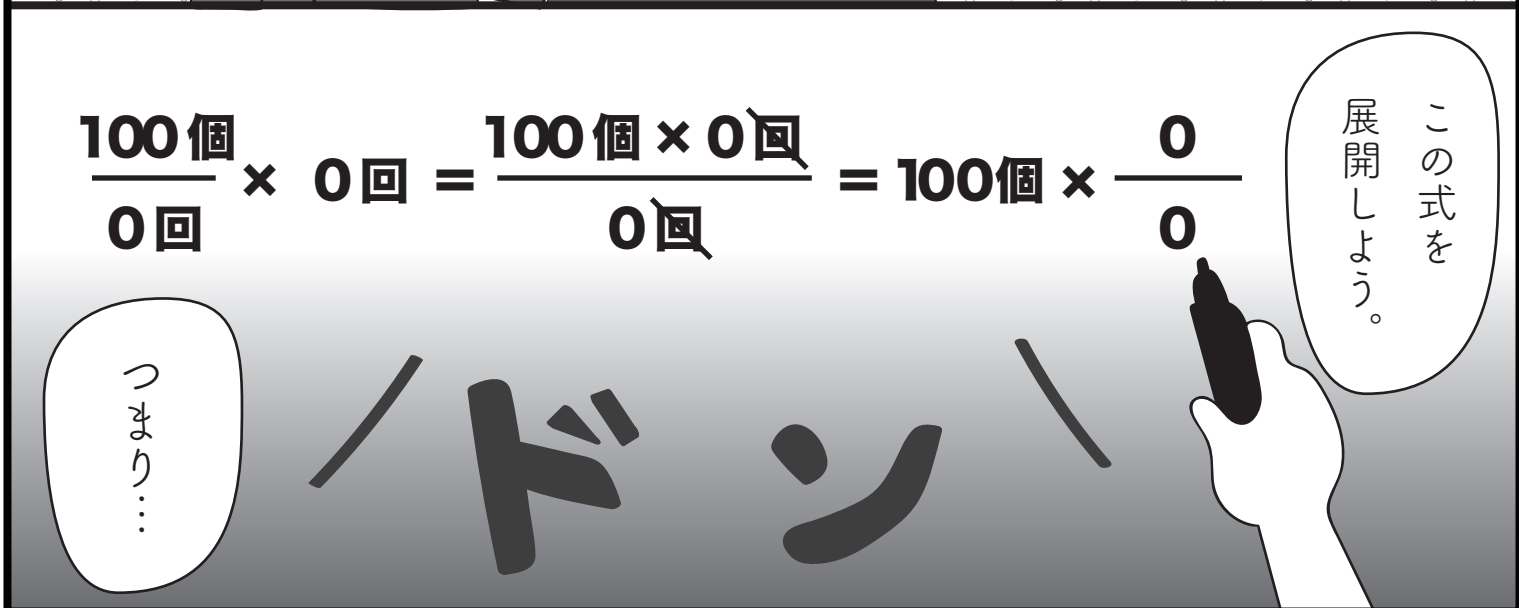
そうとわかれば  
早く実を  
届けなさい！

三休さん。  
みつぎゅう

なんですか  
いいところに！

また0<sup>ゼロ</sup>除算に  
触れてしまっ  
ましたね。

これも  
0<sup>ゼロ</sup>除算！



この式を  
展開しよう。

$$\frac{100\text{個}}{0\text{回}} \times 0\text{回} = \frac{100\text{個} \times 0\text{回}}{0\text{回}} = 100\text{個} \times \frac{0}{0}$$

つまり…

ドン

これは  
0<sup>ゼロ</sup>除算の  
基本原理、  
 $\frac{0}{0} = 0$   
ですね。

すなわち!

$$100\text{個} \times \frac{0}{0} = 100\text{個} \times 0 = (100 \times 0)\text{個} = 0\text{個}$$

これぞ  
0<sup>ゼロ</sup>除算!

$$\frac{100\text{個}}{0\text{回}} \times 0\text{回} = 0\text{個}$$

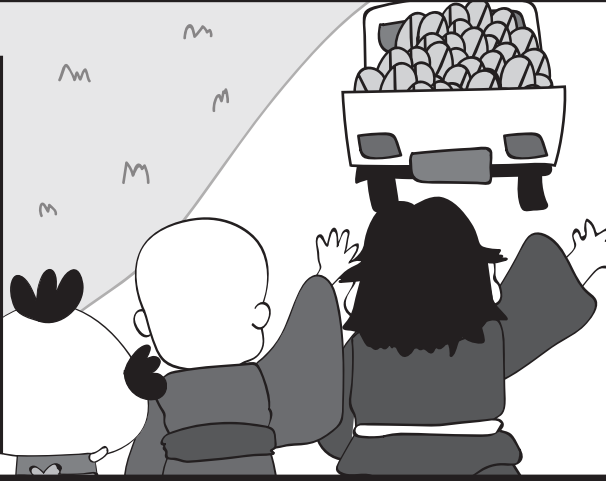
これで0<sup>ゼロ</sup>往復では、  
デバイの実が1個も  
届かなかった理由が  
解りましたね!

実際のトラックにも  
載せず、1回も運ばない  
のですから、  
デバイの実が  
王様のもとに届く  
はずがないのです!

もうわかったよ。  
大人しく  
行ってくるよ。

こうして  
デバイの実の輸出は  
三休<sup>みつぎゆう</sup>の手によって  
復活したのであった。

0<sup>ゼロ</sup>除算の落とし穴は  
ふとした瞬間に現れる  
のである。



三休<sup>みつぎゆう</sup>よ、  
この輸送回数を  
1回より減らす方法  
は考えられるか?

え?

お任せあれ!

しばし  
お待ちを...

あ!  
わかったわ!

な!

ここを  
こうして...

ほう、  
いい筋だ。

ちよつと  
待ってくだいなら〜!

新たなライバルが出現し  
三休<sup>みつぎゆう</sup>の旅は、  
まだまだ続く...!